

一般質問通告表

令和4年第3回始良市議会定例会（9月1日）

<p>3. 国生 卓</p>	<p>1. 豪雨災害について</p>	<p>本年7月8日・15日・19日の3日間に記録的短時間の豪雨により河川の氾濫、崖崩れ等が市内のあらゆる箇所において災害が発生した。</p> <p>そこで、以下について問う。</p> <p>(1) 防災行政無線について</p> <p>防災行政無線は、「聞こえない・聞きづらい」などの声がある。スピーカーの音量の限界や、防音性能が高い住宅、気象条件などにより異なるため、抜本的な対策は難しい状況にあると思うが、少しでも解消するため調査・研究を行っているのか問う。</p> <p>(2) 市民通報手段について</p> <p>災害等が発生したとき、また、日常において市役所への通報手段として、危険箇所等を早期通報することで迅速な対応が図られることを目的とした市民通報アプリがあるが、導入の考えを問う。</p> <p>(3) かけ地応急工事補助事業について</p> <p>昨年の6月議会で、「1世帯の宅地に流入した土砂等の除去を所有者等が行う応急措置工事に要する費用の一部補助について」質問したが、答弁では、「他の自治体の参考にしながら、今後、検討する」とのことだったが、その後の検討結果を問う。</p>	<p>市長</p>
	<p>2. 道路拡幅について</p>	<p>昭和62年1月16日（登記日）に、市道宮島・下久徳線内の蒲生町下久徳下地域の沿道の山林一部（下久徳1208</p>	<p>市長</p>

		<p>－ 3 及び 1 2 0 8 － 4）を道路拡幅のため旧蒲生町が買い上げたが、35年経過しても整備の状況がみられない。</p> <p>そこで以下について問う。</p> <p>(1) この宮島・下久徳線内の下久徳地域の区間は、朝・夕は交通量が多く、曲線区間もあり、地域住民の安全性向上のため、1日も早い道路拡幅整備が必要と考えるが、市としてこの区間をどのような位置付けとして捉えているのか問う。</p> <p>(2) 合併後、近隣所有者との話合を行ったか問う。</p> <p>(3) 市所有林であるが、沿道に木の枝等が垂れて交通の妨げになっているが伐採の計画を問う。</p>	
4. 小田原 優	1. 「人件費削減や節約で無駄を排除する。」の新聞での発言と財政問題	<p>(1) 市長は南日本新聞「始良市長に再選」で「人件費削減や節約で無駄を排除する」と述べている。</p> <p>記事を読んだ市民は、かつて財政危機に陥りかけた鹿児島県が、県職員の給与減額を行った事例を想像するが、職員削減についても普通は想像する。しかし、職員削減については8月臨時会で市長は否定した。人件費削減とは何を指すのか。</p> <p>(2) 「節約で無駄を排除」とは、この4年間で既に確信したうえでの発言と考えるが具体的には何か。</p> <p>(3) 建設予定の子ども館と本庁舎立体駐車場の初年度の維持費と20年後の営繕費総額試算、そして子ども館については人件費の総額を示せ。</p> <p>(4) 加音ホール建設時からの営繕費総額を示せ。</p>	市長 教育長

<p>2. 電子決裁に伴う電子情報等の公文書管理</p>	<p>(1) 職員や管理職が業務に使うPC端末の開庁時間内における端末担当者の離着席時の管理状況を示せ。</p> <p>(2) 先の議会の回答によると、公文書等の管理に関する法に基づいた市文書取扱規程とのこと。市民や職員の個人情報^{個人}は勿論、市の方針決定や人事記録などについても同法に基づく取扱か。</p> <p>(3) 紙ベースでの文書の他、システム内の電磁記録データについての取扱はどのようなになっているのか。</p> <p>また、職員を対象とした公文書管理研修を実施する考えはないか。既に実施している場合、職員間の目揃い調整はどうか。</p>	<p>市長 教育長</p>
<p>3. 公平課税について</p>	<p>(1) 始良市の課税に関し、ライン決裁者総てが情報を共有し、概ね理解していると考えて良いか。</p> <p>(2) 4方式の国民健康保険税の課税において、資産割の総額と旧町ごとの対象世帯数、そして世帯ごとの資産割平均額はいくらか。</p> <p>(3) 固定資産税等の課税において土地や家屋と実例価格等と課税標準額とは異なるが、家屋については再建築評点数と建築価格との違い、土地については実例売買価格との差を簡単に説明せよ。</p> <p>(4) 宅地に比較して山林や田畑の課税標準額は極端に低いとその根拠は何か。</p> <p>(5) 全国でも問題となっている資産所有者の死亡に伴う相続登記未処理をどう把握し課税処理しているか。</p> <p>(6) 田畑・山林・池・湖沼^{こしろう}などの登記地目でも、実際にはいつでも宅地とし</p>	<p>市長</p>

		<p>て売買可能な広大な土地がある場合の課税はどう処理しているのか。</p> <p>(7) 小規模住宅用地認定は有り難い制度である。しかし、中には居住用家屋として認定できない事案も存在すると思料されるがどのように処理しているか。</p> <p>(8) 10㎡未満の家屋も含め、新築家屋等の情報はどのような方法で情報収集し評価を行っているのか。</p> <p>(9) 公平課税と理解し市民は納税している。固定資産税に関しては課税客体の詳細把握が必要と考えるが、合併後の判明した旧町ごとの賦課洩れ状況を示せ。</p> <p>(10) 合併協議の際、旧町間における課税状況の不均衡是正についての協議はされているのか。</p> <p>(11) 総務省は原則として毎年の実態調査を求めているが、課税客体である土地・家屋の最終的な全調査の時期を旧町ごとに示せ。</p> <p>(12) 既存家屋を活かした事業所改築が最近見受けられるが、総務省が増改築評価に関し根拠として示している資本的増加についてどう解釈しているか。</p> <p>(13) 公平課税を実現するため、市内全域を対象とした、全棟・全筆調査が必要と考えるがどうか。</p>	
5. 森川 和美	1. 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>依然として、新型コロナウイルス感染者数は収束の見通せない状況であり、専門家は、第8波も必ず到来するとの事である。</p> <p>そこで以下について問う。</p>	市 長

	<p>2. 自治会運営と行政事務委託員及び行政事務委託料について</p>	<p>(1) 今後の対策として、専門家を入れたコロナ対策室を設置する考えはないか。</p> <p>(2) 本市の医療機関の実態はどのような状況か。</p> <p>(3) 妊婦のコロナ感染者の実態と対応について。</p> <p>(4) 最近になって、後遺症で悩む実態が、問題になってきている。後遺症に関する講演会や、専門相談窓口を設置する考えはないか。</p> <p>(5) 緊急搬送の状況を示せ。</p> <p>(1) 本市の自治会数は現在240自治会であるが、少数の自治会、また大世帯の自治会、さらに高齢者のみの自治会、そして自治会長になり手がなくなかなか辞められない、加えてコロナ禍で行事や催しが思う通りにできないなど二重三重の課題があると思うが、今後の自治会のあり方をどのように考えているのか。</p> <p>(2) 行政事務委託員、行政事務委託料について自治会によってさまざまな問題に直面して、会員と自治会長とでトラブル等が多く発生していると聞く。現に相談があったが、このような相談、苦情は当局にどれ位あるのか。どのように対応しているか。</p> <p>(3) 行政事務委託料の振込先について、始良市全体で自治会へ振り込んでいる戸数と、行政事務委託員へ直接振り込んでいる人数を示せ。</p> <p>また、自治会長が行政事務委託員を兼ねている人数も示せ。</p>	<p>市長</p>
--	--------------------------------------	--	-----------

	<p>3. 小中学校の老朽化対策について</p> <p>4. 男性トイレにサニタリーボックス（汚物入れ）設置について</p>	<p>全国の公立小中学校の校舎や体育館などの3割が築45年以上で、このうち7割が必要な改修が行われていないことが文部科学省の調査結果で分かった。</p> <p>公立学校は子どもたちが長く過ごすだけでなく、災害時には地域住民の避難所にもなる場所である。</p> <p>本市の場合は小中学校とも耐震工事は実施されているが、今後、老朽化対策や日常的な点検及び適切なタイミングでの改修などどのように進めるのか。</p> <p>女性トイレには生理用品などを捨てる汚物入れがある。一方男性トイレはほとんどない状況である。</p> <p>前立腺がんや膀胱がんを患った男性らが、使用済みの尿もれパットなどを捨てる場所に困るケースが生じている。男性トイレにもサニタリーボックスを置く自治体や商業施設で広がっているが、本市でも置く考えはないか。予算は少額で済むと思う。</p>	<p>市長 教育長</p> <p>市長</p>
<p>6. 竹下 日出志</p>	<p>1. 自動販売機リサイクルボックスの異物混入低減の取組について</p>	<p>ペットボトルの回収過程で「異物の混入」という問題が生じているが、現状では、飲料メーカーや流通事業者が自主的に処理している。その結果、業界として本来は負担しなくても良い処理費用等の負担が増大し、大きな問題となっている。</p> <p>(1) 本市では、こうした自動販売機リサイクルボックスへの異物混入問題をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 自動販売機リサイクルボックス内の異物低減は、自動販売機業者だけで</p>	<p>市長 教育長</p>

	<p>2. 男性用トイレのサニタリーボックス設置について</p>	<p>なく、行政機関も協力して問題解決にあたる考えはないか。</p> <p>男性に多い膀胱がんや前立腺がんの手術後、排尿のコントロールが難しくなり、尿漏れパッドを使わざるを得ない人がいる。しかし、男性トイレの個室にはサニタリーボックス（汚物入れ）が設置されているケースがほとんどなく、その処理に困っている。</p> <p>本市でも、男性用トイレの個室にサニタリーボックスを設置する考えはないか。</p>	<p>市長 教育長</p>
	<p>3. ハトによる被害と対策について</p>	<p>自宅のベランダなどにハトが巣を作り、糞（ふん）などによる被害を訴える人が増えている。鳥害対策を専門に行う「日本鳩対策センター」によると、新型コロナウイルス禍を受けた在宅勤務の拡大で、被害に気付くケースも少なくない。ハトは、帰巢本能が強く、巣を作ってからでは遅いと言われている。</p> <p>ハトに好まれやすいのは、公園や川など餌場が近くにある住宅や空き家などで、「ハトは暖かい場所を好むため、給湯器や洗濯機、物置の隙間などに入り込むことも多い」と言われている。</p> <p>また、ハトの糞は金属腐食のほか、感染症やアレルギーといった健康被害をもたらすリスクもある。</p> <p>(1) 本市での、市営住宅や学校、公共施設等でハトに関する相談件数と内容、その対策はどのように考えているか。</p> <p>(2) ハトの糞による健康被害の相談等を問う。</p>	<p>市長 教育長</p>

<p>7. 塩入 英明</p>	<p>1. 「成熟したまちへの成長」住居環境について</p>	<p>(1) 可住地について</p> <p>① 鹿児島県の可住地面積は、約36.06%「内訳自然公園面積13.44%、田畑面積16.41%（田面積4.86%・畑面積11.55%）宅地面積4.05%」のデータがある。本市の可住地面積及び可住地人口密度について問う。</p> <p>② 日本は、水資源が少なく、河川が短く、降った雨はすぐに海へ流れ出てしまいます。当然のこと、ある一定以上の降雨量(時間雨量)は、可住地内の河川氾濫・洪水等の要因の一つになる。国・県との連携及び予防対策について問う。</p> <p>(2018年の総務省による統計ダッシュボード調査データ)</p> <p>(2) 外壁(柱)後退距離について</p> <p>① 建築基準法 道路境界線(47条)からの外壁(柱)後退距離、敷地境界線(54条)からの外壁(柱)後退距離の規制を受ける対象地域と建築基準法による道路境界線及び敷地境界線からの外壁(柱)後退距離の規制がない地域は、都市計画用途地域の地域指定の違いと捉えている。また地区計画条例による外壁(柱)後退距離について規制があるのかについて問う。</p> <p>② 本市における外壁(柱)後退距離について規制があるのかについて問う。</p> <p>③ 民法234条による外壁(柱)後退距離について問う。</p> <p>(3) 風致地区、日本遺産及び建築協定について</p> <p>① 風致地区制度としては、1926年(大正15年)に国内初の指定がある。また1980年代以降は</p>	<p>市長 教育長</p>
-----------------	--------------------------------	---	-------------------

		<p>「まちづくり」「環境問題」等もふまえ、より広がりのある景観条例制定の動きが進んでおり、2004年（平成16年）に制定された「景観法」は、今後の風致地区の展開にも影響を与えるものとみられる。本市は、風致地区についてどの様に捉えているのかを問う。</p> <p>②日本遺産は、文化庁が認定した各地域の歴史的魅力や特色を通じて、有形・無形の文化財を地域が主体となって観光振興とそれに伴う地域活性化や雇用促進などを目的としている。「日本遺産蒲生麓」の現況について、本市の説明を求める。</p> <p>③建築協定は、地域の住民が地域の特性に基づき、自ら設けることができる「まちづくりルール」です。またより快適な住環境や、住民参加の魅力あるまちづくりへと、つながるかもしれません。本市は、建築協定についてどの様に捉えているのかを問う。</p> <p>(4) 街路樹について</p> <p>①市街地での質の高い住まい方、自然環境や景観の保全・創出に対する市民・住民の意識も高まっている。また、ただ単に都市化ではなく安定・成熟した都市型への移行である。さらに、地球環境問題や自然災害への備え、行政コスト削減等、様々な理由や狙いがある。反面、市民から街路樹、神社境内の樹木伐採などの要望もある。本市における街路樹の役割について問う。</p> <p>②交通事故予防対策(運転者の視線)、防犯予防対策として、低木、高木の高さ、また植栽部分の歩道の有効</p>	
--	--	---	--

	<p>2. プロポーザル方式について</p>	<p>幅員について、本市における指針を問う。</p> <p>(1) 客観的な評価基準があり、公平公正で透明性を備えた選定が可能となる。また質の高い提案、プロジェクトに適した提案者（設計者）を選定できる。本市の考え方について問う。</p> <p>(2) 発注者（事業主体者）の意見、要望が反映しやすい。また提案者（設計者）との質の高い密接なコラボレーションが可能になる。本市の考え方について問う。</p> <p>(3) 実績の無い提案者（企業）は、参加しにくい状況にある。また発注者（事業主体者）がより具体的な提案書を求める傾向にある。本市の考え方について問う。</p>	<p>市長 教育長</p>
--	------------------------	--	-------------------